

eco's 通信

2008
12月
vol.187

出雲養護学校 学習発表会に参加しました



“出養太鼓 エイ！サー！と聞いてみよう”

「共に生きる」を実感！
みんな元気いっぱい
観客も大盛り上がり

「エイ、サー」の元気な掛け声が体育館に響き渡る。出養太鼓の演奏だ。子供たちのエネルギーが、私たち参加者の心を揺さぶる。「共に生きる」を実感する瞬間だ。

11月15日 出雲養護学校の学習発表会に参加させていただきました。普段の学習の成果発表、また、地域との交流の場としても意義深い行事で、毎年開催されています。

生徒の皆さんは、早い学年では夏休み明けから、練習を重ねられました。日頃の学習の成果を十分に発揮できるように、先生方のご努力も大変なものです。みんなで力を合わせて一つのリズムにのせられるように。また、発表会に不慣れな生徒さんへは参加の仕方を考えたり等の支援をされています。生徒さんにとっても、ひとつの節目であり、自身への励みや刺激になっています。ピョンピョン飛び跳ねて喜びを表現している生徒さんもおられ、楽しそうでした。保護者の方もこの発表会を期待され、ワクワクドキドキ楽しみにしておられます。

午後には、作業作品の販売が行われ、押すな押すなの大盛況！！生徒さんたちは、自分たちが作ったものがお客様に喜んでいただけるのを見て、働く喜びを感じられたことと思います。このことによって、将来の自分の仕事について考えられることもあることなのでしょう。私たち地域の人が、できる限り、就職の機会を作ってあげられたらと考えます。

職業体験で、当社も昨年生徒さんの受け入れをしています。一生懸命取り組んでいる姿をみると、応援したくなります。一方、そういう姿をみて、私たちも良い刺激を受け、元気になれるのです。これからも、職場体験を受け入れていきたいと思えます。
(長野)



クッキー売り場は大盛況。黒山の人だかりです。(写真左)

繁盛店訪問

Honda Cars 島根東 黒田店 様

〒690-0876 島根県松江市黒田町434-1
TEL 0852-59-9650
FAX 0852-59-9651



自ら、ホンダ車の魅力を語る、金津店長様
「ホンダ車は、エンジンや足周りに独自性があります。奇抜さや遊び心も備えており、車好きの人にはたまりません。私もアコードセダンに乗っています。」

新規開店

松江市橋北の黒田地区に出店されました。
この店舗は、社員皆さんで考えられたデザインで、店内は木目で統一された、カフェ風のつくりとなっています。木目にすることにより、温かみと優しい雰囲気醸し出しています。ガラス張りですら外部からは陽光が差込み、開放された雰囲気となっています。

「オープン時のイベントでは、土・日曜日にご家族での来店が多く、大にぎわいでした。来店者数は徐々に上がってきています。今後、地域の皆様との交流もはかっていきたいと思えます。」

今は、お客様は車を大切にされる時代です。お客様の自動車買い替えサイクルも長くなってきており、修理・点検等サービス部門のお客様の繰り返しをはからなければなりません。当店では、サービス部門の新規お客様が多くなってきています。店内からガラス越しに整備工場での作業状況が確認できるので、安心です。これからの季節、タイヤ交換やオイル交換など、気軽に来店ください。」と、金津店長様から、お言葉をいただきました。

ステキなカフェ風な店：気軽に寄ってみてください

ステキな笑顔の近藤様。おいしいコーヒーをいれていただけます。



爆発的ヒット

6年前、“フィット”が発売され、燃費・スタイルのよさで爆発的に売れ、以来ずっと市場を牽引してきています。生活スタイルの変化や原油高による燃料高騰により、燃費の良い“フィット”のようなコンパクトカーが売られています。“フィット”は音が静かでよく走ります。小回りが利くのも大きな利点です。女性をターゲットにしており、軽自動車の“ライフ”も“フィット”と共に人気です。来春には、消費者にもっとも身近に感じてもらえる環境対応車として、新型のハイブリッド車が発売されます。ハイブリッド車市場へ本格的な攻勢をされるとのことで、とても楽しみです。



ホンダカーズ島根東全店舗に、AED（自動体外式除細動器、心肺停止した時に使えます）が設置されています。緊急時を想定し、使い方の社員講習を実施されています。



近所のおじいさんが自転車に乗って、コーヒーを飲みに来られるそうです。店内が親しみやすい雰囲気です。お子様からからお年寄りまで気軽に入れるお店です。地域との交流をはかっておられ、スタッフの方々も優しく対応されています。

ボイラー 30年間ありがとう

工場で30年以上にわたり、地域から出る廃油をリサイクルし、再生燃料油製造に大きく貢献してくれたボイラーが、このたび役目を終えることになりました。このボイラーに社員一同、感謝をします。30年もの長きにわたり使用できたのは、メンテナンス等の維持管理のためものです。機械を安全に、大事に使うことを教えてくれました。今後、このボイラーは分解され、能力の検証をされることになっています。30年間、ありがとう！！

昭和52年にこのボイラーに代わりました。日常点検をきちんと行っていました。1~2週間に1回は、ボイラーの中に入って、灰掃除を行いました。灰はバケツ一杯ありました。当時、10年過ぎると、爆発するといわれていました。再生燃料油を燃やしていましたが、火が消える



長浜神社より御祓いを受けました。

ことが時々ありました。どうしたら、火がついてくれるか、苦心しました。(藤江様 昭和51年9月から昭和62年12月まで当社勤務)

冬になると、お客様への納品量が多くなり、製造が間に合わなくなり、徹夜で工場を回したことが思い出になっています。(石橋)

機械は正直で、手をかければかけただけ返してくれます。きちんと自分の手でメンテナンスを行いました。また、今の団塊の世代にあたる職人さんたちが丹精こめてつくられたボイラーで、頑丈にできています。大きい機械ですが、負荷がかかりにくい作りになっています。それが長持ちの秘訣のひとつだったのかもしれない。

(河上)

当時、よく社長から「火の神様がいるから、良く炎を見て勉強しなさい」と言われていました。立ち上げ前には、バーナーチップを必ず掃除し、着火するようにしていました。しかし、既に20年以上経っていたので、手入れを怠ると着火しない時もありました。そんな時はもう一度手入れし直し、「神様、火が付きますように」とボイラーに手を合わせる。何故かその時は不思議と直ぐに着火しました。結局、火の神様に出会うことはありませんでした。山陰興業を支えてくれたボイラー君、長い間、ありがとう!!!

(松下)

このような歴代の担当社員の改善によって、新しいボイラーにそのノウハウが反映されています。現在のボイラーはトラブル無く順調に稼働しています。(安原)

11月の安全講習

タイヤチェーンについて

これからの季節、積雪に備え、冬道でのチェーンのかけ方を学びました。路面の状況により、自然の力によって思わぬ方向に車輛が動きます。渋滞等で凍結した橋上で停車した場合、橋の振動で橋の中央へ動いたりします。四輪駆動車といえどもタイヤがロックしたら、スリップしコントロールを失います。凍結路面で事故が多いのは四輪駆動車だそうです。(長野)

チェーンをつけることはほとんどありません。しかし、日ごろ、チェーンのねじれを直したり取り付ける練習をしておかないといざというときに出来ません。何回もやらないと身に付かないと思います。(矢田)

立ち入り検査

移動タンク貯蔵所(タンクローリー)の消防署立ち入り検査がありました。先月、河上5Sリーダーの指導の下で定期点検



を実施していたので、スムーズに検査を受けることができました。一部不備がありました。即刻、部品を交換し、不備を是正し、消防署に報告します。(岸本)

実際にチェーンをかけてみました。

今月の改善

“道具棚”を作りました

毎月1つずつ改善してムダをなくす運動を展開しています。自分の仕事が楽にならないか、アイデアを即実行に移します。工場2階に、自分たちでキャスター付の棚を作りました。伊達山社員設計、石原社員製作です。工具類が使いやすく配置され、また、治具にあわせた高さで、取り出しやすく、作業効率がよくなりました。工具類が散乱することなく、整然と配置され、見た目もきれいになりました。(木村憲)

改善は、作業効率を高めるだけでなく、自分の職場を自分の手で改善することで、仕事に誇りを持たせてくれます。事故・ケガのない安全な職場環境を作っていきましょう。(安原)



工具類の油汚れを拭いてから、納めます。

第21回本社一斉清掃の実施

平成20年11月22日

久々の快晴で、気持ちよく作業できました。会社周辺のゴミ拾いの後、構内のU字溝を含む側溝清掃を行いました。汚泥が堆積している箇所もあり、泥を取り除くことで、水はけがよくなりました。みんなで力を合わせ、テキパキと短時間で行うことができました。（長野）

研修レポート

我流でやっていた営業を見つめなおす



某外資系企業に勤めておられた営業アドバイザーの木下先生に学ぶため、福岡へいってきました。我流で続けていたため自分自身の限界点が見えたような気になっていたのが今回の研修はとて素晴らしい機会になりました。

会になりました。

まず最初に、壁を感じることができるのは成長している証との言葉をいただき、とても気が楽になりました。そんな時は自分のやり方を大きく変えるのではなく営業ツールなどを変えてみるのもいいし、場合によっては気持ち一つで状況は変化するとのことでした。先生は私の気持ちの部分にキッカケがあると感じておられたようです。

営業にマニュアルはなく、営業マンそれぞれによってやり方は違うが当然のことながら人間関係が最も大切とのことでした。ただ単に飛び込み営業するのではなく、きちんと戦略と戦術をもって営業しないと会社はもちろん私自身のためにも良くないと学びました。（大國）

まず、倒産しない会社をつくる



東京で行われました、「経理の基礎～決算までの流れについて」の講習に参加させていただきました。経理という業務を再度強く自覚しました。日々の業務が会社にとって、とても重要である事です。

月次決算から算出される数字にともない次に会社の方向性が見えて来るということになり、また現在、国内の経済状況が厳しい中、その状況に対応できるプランが立てられるという事です。

もう一つ学んだ事は、視野を広げるという事です。国内だけではなく、世界の経済状況を視野に入れながら自分も成長して行く事です。私は、この講習会に参加させて頂き、また一つステップを上げられたという気持ちで、日々の業務を遂行して行きたいと思えます。（鳥屋原）

『日本でいちばん大切にしたい会社』 を読んで

11月の指定図書



どこの会社の話も、そこで働く人たちの顔が見えてくるようでした。会社として経営をしていく以上、利益が出せなければ、会社は成り立っていかないと思います。

でも、どの会社も、それが前面に出ておらず、働きやすい環境づくりをしているところが印象的です。会社で雇ってもらっている以上は、その会社の方針で働かなければなりません。会社が一生懸命働きやすい環境を作ろうとしたり、作ったりすることが目に見えて分かる、社員のやる気も上がり、いい商品が出来、結果的に、末端のユーザーへもその思いが伝わることで会社が利益をだせていると思います。

長い間、同じように利益を上げている会社の裏側を、この本でみせられた気がしました。何をやるにも「人」の思いが大きく関係している事を改めて感じました。（横並）

元氣の出る言葉

中村天風師

具合が悪いときに具合が悪いといったら、具合が悪いのが治るかい

言葉には人生を左右する力があるんです。

この自覚こそが人生を勝利にみちびく最良の武器なんですよ。

（「君に成功を贈る」より 日本経営合理化協会刊）

気持ち落ち込んだときなど、消極的な言葉を発しなつてるとだんだん気持ちもそうなる状態に
なつていきま。物事を前向きに考え、積極的な言葉を
発して明るくします。自分自身を前進させよう！
（長野）



クワネモチの赤い実が鮮やかです

自分を高める今の一冊

覚悟のすすめ

金本知憲著 阪神タイガース外野手

12月の指定図書

《シーズン中はライバルたちも同じ練習をする。みんなが同じように伸びていく。それならば、みんなが休んでいるオフに懸命に練習して、少しでも近づいてやろうと考えた。P103》



王・長島しか、野球選手についての知識のない私にとって、失礼を恐れず言えば、金本という選手が、904試合連続フルイニング出場という、世界新記録を立てた快挙を初めて知りました。

しかし文中「ビビりだから、小心者だからこそ努力する」などという言葉が出てくることから、決してデビュー当時からスポットライトをあびた、才能豊かな選手ではなかったことが判ります。金本選手は他の選手に勝って栄光を手にするために、ひたすら地味な練習時間を他の選手より多くし、自分の実力を上げることに専念したのです。

私が経営者の仲間入りしたときに、竹田陽一先生から、才能も財産もない人が成功するためには、まず経営を勉強し、経験することに掛ける時間を徹底して多くしなさい。学ぶ時間の二乗、経験の多さ(少しの成功と多くの失敗)の二乗に比例して、経営者として成果は上がります、と学びました。これからも学ぶことと経験を積み重ねます。(山根)

蔵書新着情報

- ・『島根の弁護士 5,6』 香川まさひと 集英社
- ・『ニュースレター販促術』 米満和彦×高田靖久 同文館出版
- ・『営業力は社長の「顔出し」で3倍アップする』 落合英之 ハジギン出版
- ・『お客のすごい集め方』 阪尾圭司 ダイヤモンド社
- ・『出雲そばの手打ちの技術』 島根・松江そば組合 旭屋出版



晩秋の大山 (十一月下旬に撮影)

発行日：毎月10日
発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472
エコス
山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野
E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

年末年始の業務案内

年末は12/27まで、年始は1/6より営業いたします。
緊急時は下記にご連絡ください。
出雲0120-315614 松江0120-315514

原稿を公募します

本誌の原稿を公募します。800字～1000字程度で、身近な出来事をテーマにしたものを希望します(例えば、感動したこと、うれしかったこと、旅の思い出、おいしいお店など)。随時受け付けます。内容により不採用の場合はお許しください。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今回の賞品は、出雲そばです。締切は12月末です。奮ってご応募ください。

Q：島根県・宍道湖でとれる代表的な7種の魚介類「宍道湖七珍」を答えてください。



先月号の答えは「中国」でした。抽選の結果、倉吉市尾崎さまが当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

編集後記

石見銀山が世界遺産に登録されて以来、初めて訪れてみました。夕方であれば、駐車場も空いているだろうと思いきや、満車が多く、やっとの思いで駐車しました。お寺のイチョウの木が見事に黄葉し、軒先には干し柿がぶら下がっています。大森の町をゆっくり散策し、晩秋の景色を堪能することができました。町並みは昔のままに保存され、その中をゆっくりと歩くと、時間がゆっくりと流れ、気持ちがとても楽になりました。大森の人たちの努力で、古い町並みが大切に保存されています。石見地方特有の赤瓦が軒を連ね、石見焼きの大ガメ、木製の窓枠、昔の郵便ポストなど、どれも郷愁をよびます。世界遺産登録で観光客が爆発的に増えましたが、大森の人たちが登録前と変わらぬ生活ができるよう、私たち観光客はマナーを守り、楽しい思い出を作っていきたいと思います。(長野)